

2016年10月27日

金石中学校PTA

情報モラカッパ通信 No.1

金石中学校PTA・平成28・29年度研究テーマ

親子で学ぶ情報モラル



情報モラカッパ

金石中学校の生徒の 約90%が

インターネットを利用できる環境にあります。

(注意：スマホ等の所持率ではありません)

みなさんのご家庭で

『情報モラル教育』やっていますか？

大人（保護者）が、その使い方を十分に理解していない道具を、
正しい判断力を十分に持たない子どもに安易に与えている現実があります。
(使い方や危険性を教えられていない)

それは、車社会がこんなに発達しているのに、
交通安全の指導をしていないようなものでしょう！

「情報モラル教育」は、子どもへの監視・管理の強化ではありません！！

まず、親がネット利用への危機感を持つこと。

そして、親子の間で、使い方やルール等の認識にズレがないように、
いつも話し合える関係をつくっていくこと。

このPTA活動では、

ネットの使い方等、積極的に話題にさせていただくことで、
家庭内コミュニケーションが充実していくことを願っています。

「情報モラル」講座 & 意見交換会

12 / 2 (金) 19 : 30 ~ ぜひご参加ください。

※この講座開催まで、「情報モラカッパ通信」をお届けします。 以上

保護者のための「情報モラルチェックシート」

次のチェックシートをごらんになって当てはまるものに 印を付けてください。
いくつ 印が入るでしょうか

	チェック内容	印
1	情報モラルに関する様々な事件や問題点について，興味関心を持ち，新聞やテレビ，インターネットで情報を集めている	
2	家庭では，子どもと話し合っってコンピュータ，携帯電話などを使う際のルールを作り，守らせている	
3	質問2のルールが守られなかったときは，利用停止や解約など，厳しい姿勢で臨むことにしている	
4	コンピュータは子どもだけで使う部屋には置かず，家族の目が届く居間などで使うようにしている	
5	子どもに携帯電話を与える前に本当に必要か検討しているほか，フィルタリングサービスの契約をしている。	
6	ブラウザやフィルタリングソフトのページ閲覧履歴を定期的に見て子どもがどのようなページを見ているか確認している	
7	子どもに勝手にネットショッピングをさせていない	
8	子どもの携帯電話やパソコンのパスワードについては，かけさせないか，親も一緒に管理をしている	
9	子どもの様子が気になるようなら，すぐに学級担任やカウンセラーと連絡をとるようにしている	
10	家族での会話を大切にし，学校や家での出来事について何でも相談できる雰囲気を作っている	

印の数	アドバイス
1～2個	便利でもあり危険な道具をただ子どもに持たせていませんか？保護者として子どもがどんな情報に接しているか関心を持ってください。
3～5個	保護者としてやるべきことはしています。しかし，今の状況に対応するにはまだまだ不十分です。ネット上の危険から子どもを守る方法を様々なガイドブックなどから入手し，実践してほしいです。
6～8個	情報に対するしっかりとした考えをお持ちで，保護者として立派です。しかしまだやらなくてはならないこともありますので，さらに今の取り組みを進めてください。
9～10個	すばらしいです。あなたの取り組みを是非周囲の保護者にも広げてください。また，子どもの様子から新しい問題が見つかったときには，先生方と協力をして問題解決に当たってください。

～ちょっと聞いてよ「情報モラル」～

参考：島根県立松江教育センター研究情報スタッフ 2008『保護者向け情報モラル資料集』

【1】メールや掲示板はマナーが大切

例えば、あなたの出したメールに「マジ？」とか「ウソ！」などとした返事が来たら、相手はあなたの出したメールの内容にちょっと驚いたと思いますか、それとも疑っていると思いますか。

メールや掲示板では声や顔の表情が伝わらないので、真意や用件がきちんと伝わるように分かりやすく丁寧な文章表現が必要です。また、絵文字などを添えて楽しい雰囲気にするのもひとつの方法です。

◆ 掲示板は誰に見られても問題のない内容や表現に

- ・ プライバシーにかかわるような内容は書かない。
- ・ 他人が多少乱暴な表現をしてもすぐに腹を立てない。

◆ メールは相手の気持ちや事情を考えて

- ・ 自分あてにもらったメールの内容は他の人に転送しない。
- ・ 相手からすぐに返事がくることを期待しない。



情報モラカップ

◆ 掲示板やメールが原因のトラブルには直接対話

友だちとのメールのやりとりがこじれたりしたときなどは、メールで聞き返さずに、会って話してみるのが良い解決策です。

また、匿名の掲示板でも悪質な内容は、誰が書き込んだかを警察が通信記録から調べることもできます。

メールや掲示板などでのトラブルやいじめの事例も少なくありません。困ったら保護者や先生に相談するように話しておくことも大切です。

【2】問題の多い学校裏サイト

インターネットで誰かが勝手に作った掲示板には、「〇〇学校〇年△組」というような特定の学校やクラスなどを話題にしたものもあります。パソコンからも携帯電話からも利用できます。

中傷やいじめにつながるような内容もあり、新聞などでは「学校裏サイト」と呼ばれ、問題視されています。

◆ 無責任な書き込みをしない

匿名だからと軽い気持ちで人をからかうような内容や無責任なうわさを流したりしないことは当然のマナーです。ましてや、いじめやそれに同調するようなことは絶対にあってははいけません。

◆ トラブルにあったら相談を

匿名で書き込んでも、悪質な内容については通信記録から誰が書いたかを調べることができます。警察には相談窓口もあり、脅迫や名誉毀損の罪にあたるとして摘発された子どももいます。

自分のことが書き込まれて困った時などは、先生や保護者に相談するように普段から話しておきましょう。

【3】 ネットいじめを考える

近年、インターネットの掲示板やメールなどに悪口を書いたり、いやがらせをしたりする「ネットいじめ」が問題になっています。

◆ より深刻でわかりにくいネットいじめ

匿名で書き込める掲示板などで悪く書かれた子どもにとっては、書き込んだのが誰かわからないまま、友だちやクラス全体への不信感をつのらせることとなります。

また、ネットいじめはこれまでのいじめと違って、学校を休んでいてもメールや掲示板によって続きます。

ネットいじめは特に見つけにくく、子どもからの相談なしにはなかなかわかりません。

◆ 気がついたことがあったら相談を

お子さんが学校に行きたがらない、ふさぎ込むなどの普段とは違う様子があるときは、いじめを受けていないか本人に聞いたり、担任に相談したりすることが必要です。

内容によっては、掲示板を提供しているサーバー運営者に内容の削除を要請したり、警察に相談して対応してもらうこともできます。

また、学校の児童生徒が関与している疑いがある場合は、学校でも事情を聞いたり必要に応じて指導したりします。

- ・【ネット上の犯罪】石川県警察本部相談ダイヤル #9110
- ・【ネット上のいじめ】24時間子供SOS相談テレホン 076-298-1699
- ・【不当請求など】石川県消費生活支援センター 076-267-6110
- ・【ネット依存症など】石川こころの健康センター 076-238-5750

【4】 チェーンメールは転送しない

学校からの連絡をメールで「他の保護者にも転送してください。」とお願いすることはありません。

◆ いろいろな内容がチェーンメールで来る

「このメールを知り合いにも転送してください。」と呼びかけるメールをチェーンメールと言います。

いわゆる「不幸の手紙」のようなものや、「明日の運動会は延期になりました。」「今週末、公園のボランティア清掃に参加してください。」「献血に協力してください。」「テレビ番組の企画で1万人を目標に転送しています。協力してください。」など、さまざまな内容のものがあります。

◆ 善意や必要な連絡でもチェーンメールはダメ

転送されてきたメールは、その本当の発信元や内容の真偽が確認できません。公共機関やきちんとした団体がチェーンメールで呼びかけや連絡をすることはありません。

チェーンメールは内容や真偽に関わらず転送しないでください。本当のことでも「他にも転送してください。」というチェーンメールの形式での連絡や呼びかけは、混乱のもとになるからです。